

SureLab SL-D850

メンテナンス作業について <Rev.A>

SureLab SL-D850のプリント結果を良好に保ち、安定して稼働させるため、定期的に以下のメンテナンス作業を実施してください。

<内容>

■ご使用に関する注意事項について

■用紙セット時

- ・用紙端面の紙粉除去

■1週間毎

- ・ロールユニットの清掃

■3ヶ月毎

- ・吸気口の清掃

■プリントの裏面がよごれたら

- ・プラテンの清掃

ご使用に関する注意事項について

＜設置環境＞

プリント品質を維持するため、以下の点に気を付けて設置してください。

①プリントする際は、以下の設置環境でお使いください。

温度：10～35℃

湿度：20～80%

※この環境以外で使用した場合、良好なプリント結果が得られない場合があります。

②こまめにプリンターの周辺を清掃してください。

＜ペーパーの取り扱いについて＞

取り扱い上のご注意

弊社が推奨するペーパーを使用してください。

ペーパーの取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

- ペーパーを折り曲げたり、プリント面を傷付けたりしないように注意してください。
- ペーパーのプリント面には触れないでください。手に付いた水分や油が、プリント品質に影響します。
- ペーパーは、ペーパーの端を持って取り扱ってください。または綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 個装箱や個装袋は、ペーパーの保管時に使用しますので、なくさないでください。
- ペーパーを濡らさないでください。
- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるペーパーは使用しないでください。
- ペーパーをセットした状態で放置すると、ペーパーの先端部分にカールが付き、印字品質が低下することがあります。プリンターをご使用にならないときは、ペーパーを取り外すことをお勧めします。

保管時のご注意

開封前または開封後のペーパーを保管する際は、以下の環境で直射日光を避けて保管してください。開封後、使用していないペーパーは、スピンドルユニットから取り外して巻き直してから保管してください。

プリント時のご注意

ペーパーの先端が、長辺に対して垂直でまっすぐな切り口になっていることを確認してください。

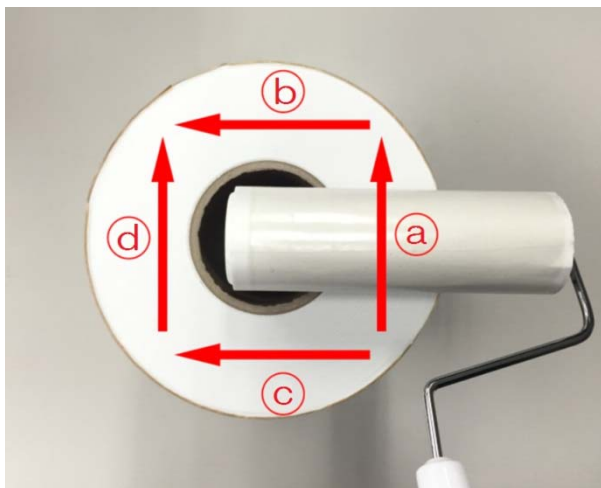
プリントしたペーパーの保管と展示について

- プリント面を擦ったり引っかいたりしないように注意してください。
- 色合いを保つために、高温・高湿・直射日光を避け、暗所に保存してください。
- 屋外での展示や直射日光の当たる場所での展示は避けてください。色あせが早くなる場合があります。
- 室内に展示する場合は、ガラスなどの額に入れて展示することをお勧めします。長期間色あせることなくご覧になれます。

ロール紙をスピンドルユニット※にセットする際、用紙端面の紙粉を取り除いてからセットしてください。

紙粉を除去頂くことで、プリント中のノズル抜けを抑制します。

- ① ロール紙を平らな場所に縦に置きます。
- ② ロールクリーナーで用紙の端面を図の「a → b → c → d」の順で清掃します。

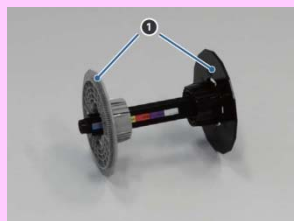


- ③ もう一方の面を上向きにし、②と同じ要領で清掃します。
- ④ 紙粉を取り除いた片面にフランジ(黒)をセットします。
- ⑤ もう一方の面にフランジ(灰)をセットします。
- ⑥ 両側フランジをロックし、作業完了です。

ポイント

右図がスピンドルユニットです。

①部分はフランジです。



ポイント

ロールクリーナーは、市販品をご購入の上、ご使用ください。

また、ロールクリーナーをご購入頂く際は、

- ・粘着面が平面（凹凸タイプなどはおすすめしません。）
- ・粘着力弱～中

のものをお選びください。紙粉が取り除きやすくなります。

<参考製品>

- ニトムズ
ココロエコノミーS
型番：C2150




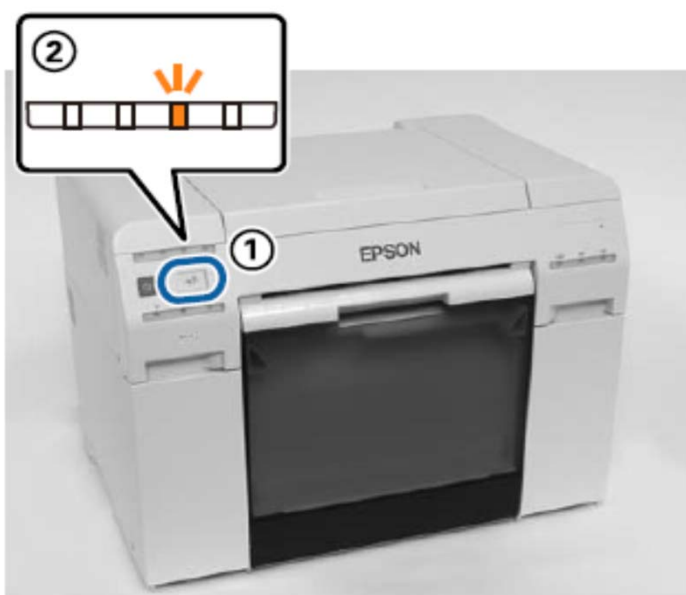
- アイリスオーヤマ
カーペットクリーナー ハンディレギュラー
型番：CNC-30R



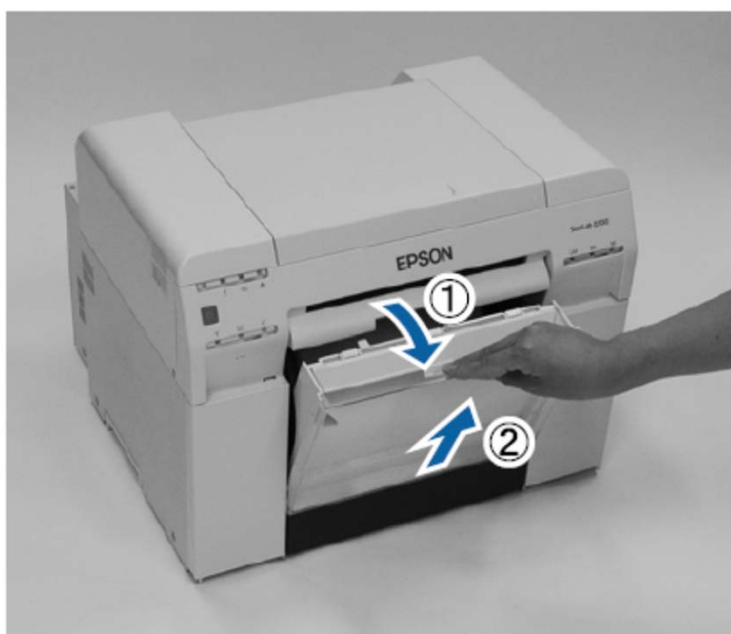
ロールユニットの紙粉回収部に紙粉が溜まると、印字面や裏面の汚れを誘発する場合があります。
プリント品質を保つために、以下の通りに清掃を実施してください。

■ 清掃手順

- ① プリンターの電源ランプが点灯していることを確認します。
- ②  スイッチを押して、ランプが点灯するまで待ちます。

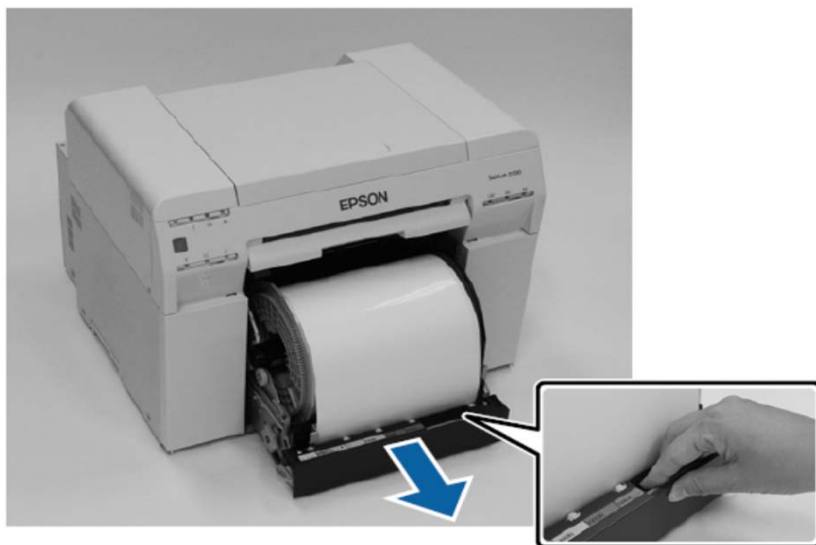


- ③ カット屑箱を取り外します。



■ 清掃手順

④ 取っ手をつまんでロックを解除し、ペーパー供給部を引き出します。

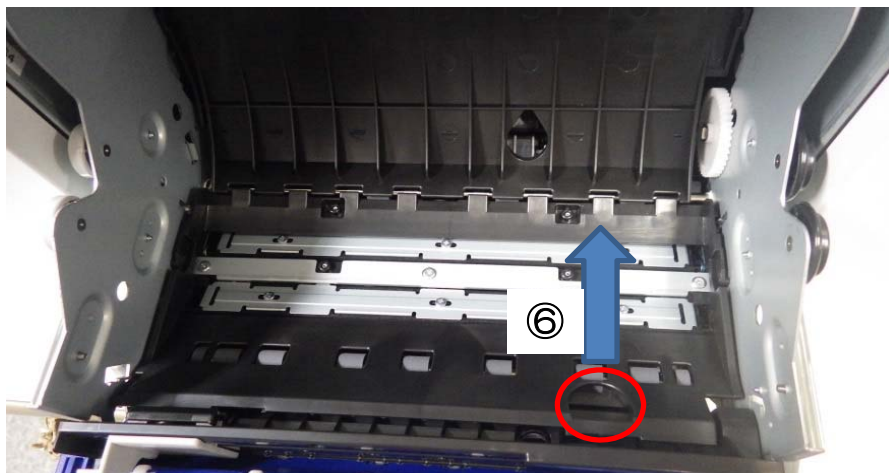


⑤ スピンドルユニットを取り外します。



■ 清掃手順

- ⑥ ロールユニットの手前部を開きます。
※開く際は赤丸部に指を掛け、上に引き上げます。



- ⑦ 赤丸部の紙粉回収部に付いた紙粉を掃除機で吸い取ります。

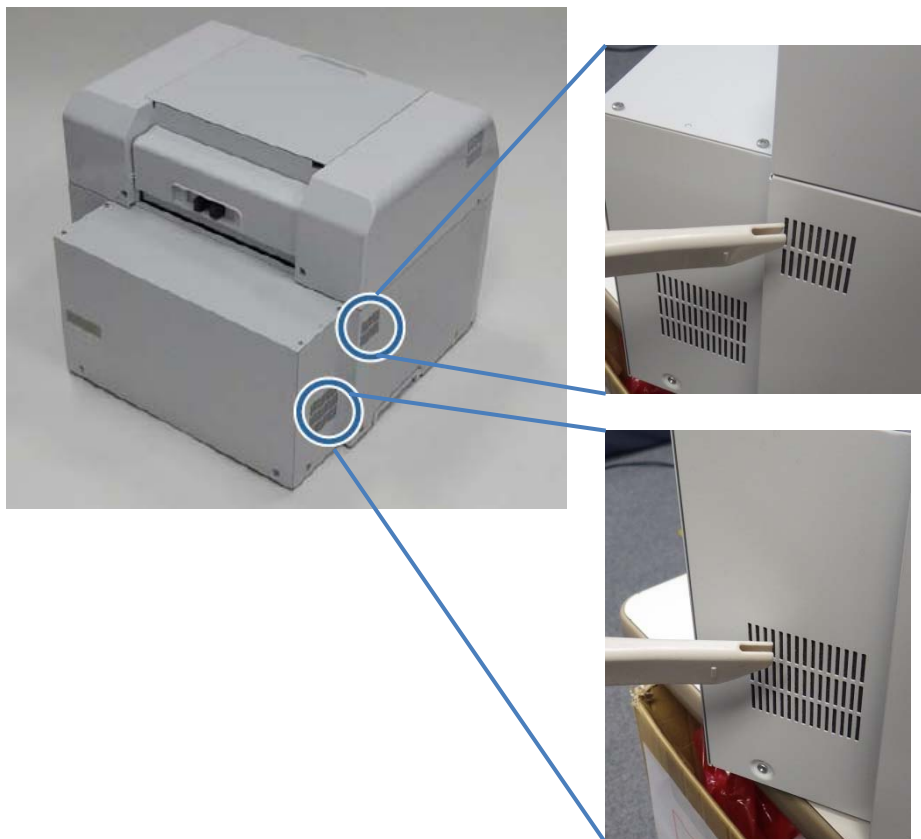


吸気口に埃や異物が溜まることで、異音や機内トラブルを引き起こす場合があります。

3ヶ月に1度、以下の通り清掃を実施してください。

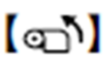
■ 清掃内容

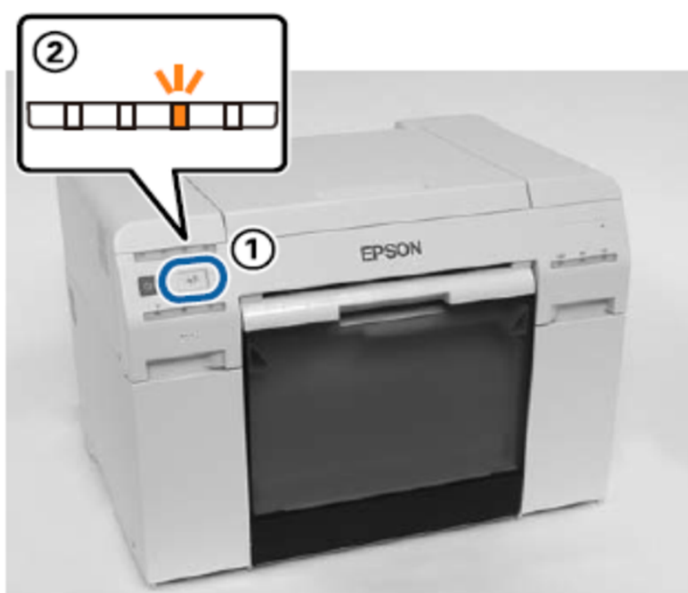
本体左側面にある吸気口(青丸部)を掃除機で吸ってください。



プリントしたペーパーの裏側が汚れるときは、プラテンに紙粉が溜まっています。以下の手順でプラテンの清掃をしてください。

■清掃手順

- ① プリンターの電源ランプが点灯していることを確認します。
- ②  スイッチを押して、ランプが点灯するまで待ちます。



- ③ トップカバーを開けます。



!重要

- プリントヘッドユニットは無理に手で動かさないでください。
- 本機内部のローラーには触らないでください。印刷汚れなどの原因になります。
- 本機内部のインクチューブは触らないでください。故障の原因になります。

■清掃手順

- ④ プラテン上（下図青色部）の紙粉（ゴミ、毛羽等）を綿棒で拭き取ります。



！重要


汚れた綿棒は使わない
でください。

- ⑤ フチなし吸収材（下図青色部）に溜まった紙粉を綿棒で拭き取ります。




- ⑥ プラテンの右側に紙粉がないとき：手順⑧に進みます。
プラテン

■清掃手順

- ⑥ プラテンの右側に紙粉がないとき：手順⑧に進みます。
プラテンの右側に紙粉があるとき：【】スイッチを3秒押します。



プリントヘッドユニットが左側に移動します。

- ⑦ 手順④、⑤と同様に紙粉を拭き取ります。
⑧ 【】スイッチを3秒押します。
⑨ トップカバーを閉めます。

